

2012年1月30日

連携機関：YKK株式会社

YKK株式会社
黒部事業所 企画推進グループ
村田 康博

1. 機関の概要

YKKグループは、中核となるファスニング事業と建材事業、そして両事業の一貫生産を支える工機によるグローバル事業経営を展開し、世界の約70カ国/地域で事業活動を行っている。その経営体制は、世界の事業エリアを北中米、南米、EMEA(ヨーロッパ・中東・アフリカをカバーするエリア)、東アジア、ASAO(アセアン・南アジア・オセアニアをカバーするエリア)。そして日本の6つのブロックに分け、地域ごとの特性を活かしながら「世界6極地域体制」としてグローバルな経営を展開している。

2. 2012年度の開講内容

世界の約70カ国/地域で事業活動を行っている弊社の変遷や現在の活動について、3つの観点より紹介する。

【経営基盤】

事業活動の基盤となる経営体制、社員一人ひとりに受け継がれる創業者の理念・思想、そしてその理念・思想をベースとしたグローバルな人材育成への取り組みを紹介する。

【ファスナーにみる品質へのこだわり】

ファスナーの商品開発や製造などの変遷を通して、グローバル企業への発展の経緯やものづくりに対する姿勢、取り組みを紹介する。

【グローバル企業としての責任】

グローバル企業として必要不可欠なリスクや特許の管理の問題、環境や地域への対応の問題への取り組みについて紹介する。

最後に、本講座のまとめとしてこれまでの講義を振り返り、ものづくりと事業運営の観点よりグローバル企業としてのあり方と今後の展望について論ずる。

3. 開講にあたって

グローバル企業として成長するに至った変遷や様々な経験を紹介することで、企業の発展や活動の原点を受講者とともに共有し、グローバル化を含め激しく変化を続ける社会に対応できる人材の育成に寄与していきたい。